

湖沼型サクラマスの成長

福島県内水面水産試験場 生産技術部

1 部門名

水産業－内水面(増養殖)－種苗生産、その他の魚種

2 担当者

佐々木恵一・新関晃司・泉 茂彦

3 要旨

湖沼型サクラマスは湖沼で成長し同種のヤマメより大型化する。大型化することが期待される種苗は漁協や養殖業者からの要望が多いことから、湖沼型サクラマスから生産した種苗と通常のヤマメとの成長比較を行い、湖沼型サクラマスの種苗として評価を行った。

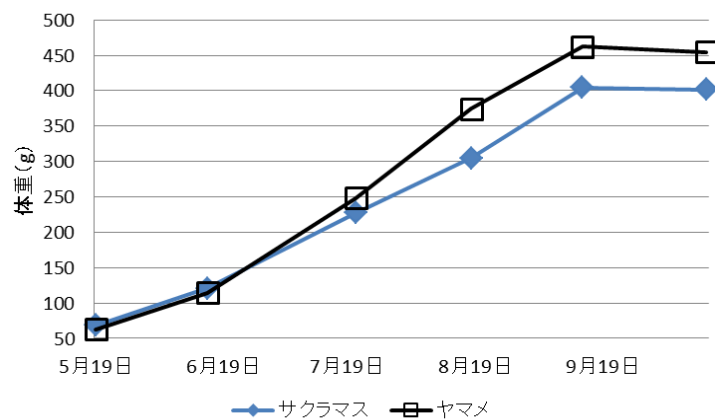
- (1) 平成27年6月～10月にかけて、はやま湖由来の湖沼型サクラマス1⁺200尾と県内養殖業者から導入したヤマメ1⁺200尾を水量60tの池で混合飼育し、その成長を比較した。
- (2) 試験開始当初の平均の全長、体重は、サクラマス1⁺が全長18.7±0.6cm、体重68.3±6.2g、ヤマメ1⁺が全長19.4±1.0cm体重62.6±13.3gと、サクラマスが大きかったが、最終取上時の体重はサクラマス1⁺が全長31.9±2.1cm、体重401.8±79.5g、ヤマメ1⁺が全長33.4±2.8cm体重454.8±105.6gでヤマメ1⁺が大きく、全長、体重ともに有意な差があった(t検定 p<0.01)。
- (3) サクラマス1⁺は開始時、銀毛化(スモルト化)している個体は200尾中2尾確認されたが、ヤマメでは確認されず、その後最終取上まで確認できなかった。
- (4) 湖沼型サクラマスは、平成22年にははやま湖から遡上した親魚から採卵し継代したものであり、遡上親魚の平均全長は42.4±5.8cmで、今回の試験結果の全長との間には有意な差があり(u検定p<0.01)期待したサイズには成長しなかった。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～27年度
- (2) 研究課題名 新品種作出保存技術の開発
- (3) 参考となる成果の区分 (参考)

5 主な参考文献・資料

平成23年度～26年度内水面水産試験場事業報告書



湖沼型サクラマスとヤマメの平均体重推移